

# チャノキイロアザミウマ情報第1号

平成23年4月28日  
愛知県農業総合試験場  
環境基盤研究部病害虫防除グループ

## 1 発生のピーク

JPP-NETを利用したチャノキイロアザミウマ第1世代成虫の発生ピーク予測日は、中山間部に位置する稲武を除いて5月22日～29日となりました(表1、図1)。本年は2月の平均気温が平年を上回りましたが、3月と4月中旬以降の気温が平年より低く推移したため、チャノキイロアザミウマ第1世代成虫の発生ピーク時期は昨年より1～5日遅いと予想されます。

表1 JPP-NETを利用したチャノキイロアザミウマ成虫の発生ピーク予測日

	愛西	東海	南知多	名古屋	豊田	岡崎	蒲郡	豊橋	伊良湖	稲武
第1世代	5/26	5/22	5/29	5/22	5/27	5/25	5/23	5/26	5/26	6/17
第2世代	6/21	6/17	6/25	6/17	6/23	6/21	6/19	6/22	6/22	7/15
第3世代	7/12	7/09	7/17	7/09	7/15	7/13	7/11	7/13	7/13	8/07
昨年の 第1世代	5/25	5/20	5/24	5/21	5/22	5/22	5/21	5/22	5/24	6/15

アメダス平均気温を利用しています。  
各地の気温は4月25日までは実測値を、それ以降は平年値を入れて計算しています。  
豊橋は、現在のアメダス地点の平年値がないため、アメダス移転前の平年値を用いています。

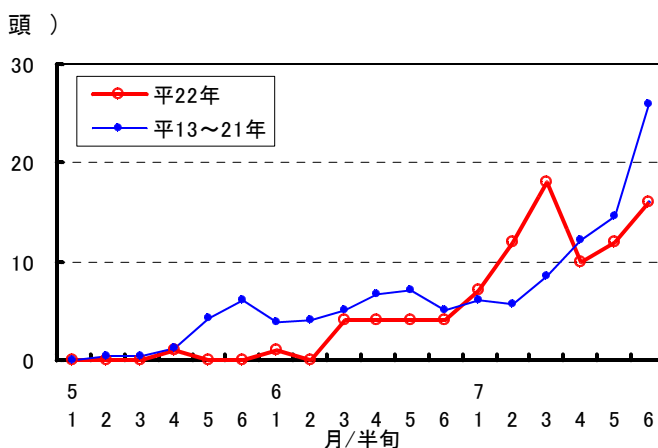


図2 粘着トラップによるチャノキイロアザミウマの成虫誘殺数 (東浦町・ブドウ)

図1 第1世代成虫の発生ピーク予測日

## 2 防除

ブドウでは例年5月上旬頃から成虫の飛来があり(図2)、5月下旬から6月上旬に幼虫の発生が見られます。カキでは開花期頃から成虫の飛来が多くなります。チャノキイロアザミウマの防除は、初期発生を抑えることが特に重要です。成虫発生ピーク時の薬剤散布が最も防除効果が高いとされていますので、例年、発生の多いほ場では、表1及び図1から第1世代成虫の発生ピーク日を予測し、薬剤防除を実施しましょう(表2)。

表2 チャノキイロアザミウマの主な防除薬剤

作物	薬剤名
ブドウ	スタークル/アルバリン顆粒水溶剤
	モスピラン水溶剤
カキ	スプラサイド水和剤
	モスピラン水溶剤